

## ■ 事業のセールスポイント

移動・情報・医療等の分野において、災害時等に特にその利用が困難になる住民の支援を行うため、先端技術の導入を行いつつ、サービス提供がより効率的・効果的に実施されるよう行政事務の効率化を推進する。

## ■ 位置図



## ■ 本事業全体の概要

### 永平寺町におけるスマートシティのビジョン IT技術による安全・安心の持続的向上

- 災害時における医療サービスの確保
- 災害情報および対応状況をワンストップで住民に見える化
- 住民サービス向上のための行政事務効率化
- 持続可能な移動手段の確保

## ■ 対象区域の概要

名称 永平寺町  
 面積 94.43km<sup>2</sup>  
 人口 19,883人  
 (H27国勢調査)

## ■ 対象区域のビジョン

IT技術による安全・安心の持続的向上



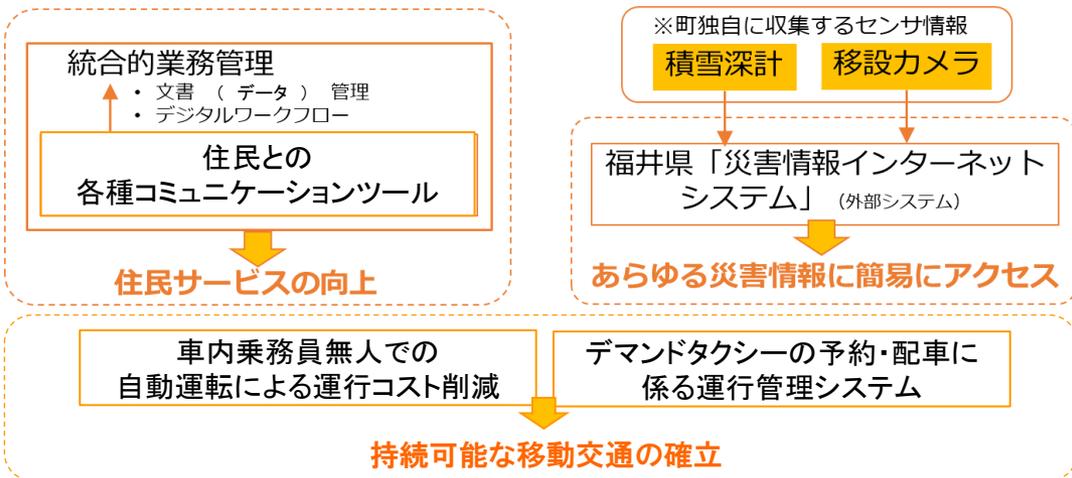
# 永平寺町スマートシティ事業（永平寺町スマートシティ提案事業体）

## ■ スマートシティの目標（2024年度時点）

【個別取組の進捗管理のためのKPI（重要業績指標）】

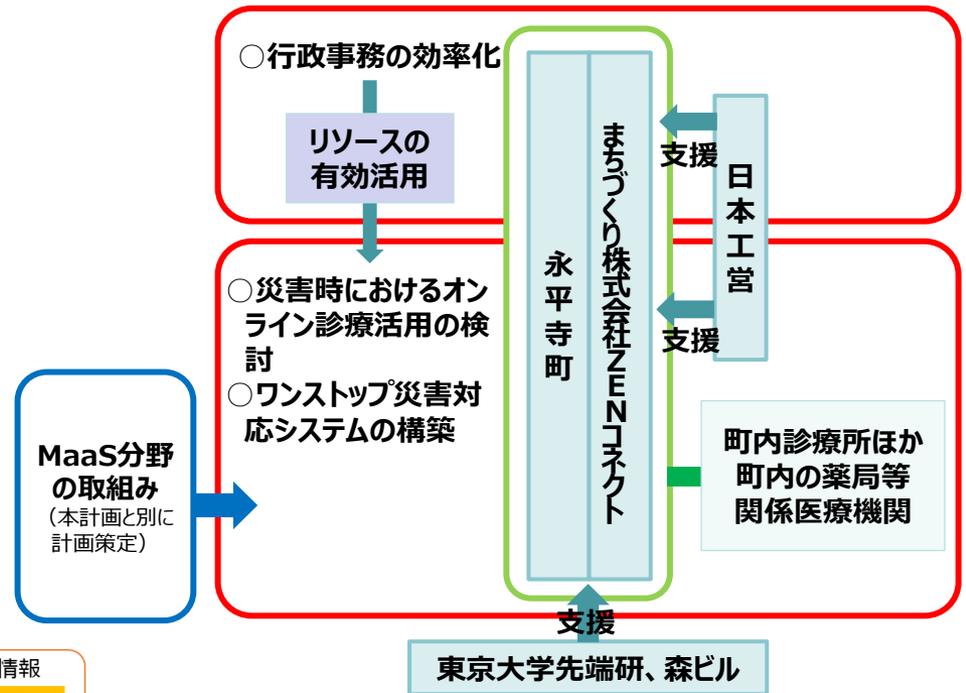
取組	アウトプット指標	アウトカム指標
行政事務の効率化	・WG開催数 ・システム等利用時間・回数	・行政事務効率化により、住民サービスが向上したと感じる住民の割合 ➢ 75%以上
ワンストップ災害対応システムの構築	・システムの導入（0→1） ・訓練や研修会の回数	・防災情報システムの住民認知度 ➢ 60%以上
災害時遠隔医療の活用	・通信環境・セキュリティ環境の整備 ・医療機関との合意形成	・遠隔医療対応の町指定避難所の数 ➢ 0→25箇所（全避難所）

## ■ 導入技術



## ■ 運営体制

- 永平寺町、まちづくり株式会社ZENコネクト、東京大学先端科学技術研究センター、森ビル(株)、日本工営(株)の連携により推進



### 行政運営

- 文書管理とデジタルワークフローを連動させた統合型業務管理システムの構築
- あわせて住民とのコミュニケーションツールの構築

### 防災

- 災害対応に必要な情報の一元管理と、住民への情報提供が可能なワンストップ災害対応システムの構築
- 避難所や孤立地区での生活に備えたオンライン診療を活用する仕組み・システムの構築

## ■ ビジネスモデル

- ・ 県域・広域での共通システムの利用により、導入コストの圧縮を図りながら地域間情報連携を促進する。圧縮されたコストを活用し、町独自に必要なデータ収集のための技術導入を行い、きめ細かい住民サービスへつなげる。
- ・ 町職員の労働力を人件費としてコスト勘定することで、技術導入のためのコストを効果測定し、IT化・デジタル化により圧縮される費用を住民生活向上ための事業に振り分けていく。

## ■ スケジュール

	～2021年度	2022年度	2023年度	2024年度～
<b>行政事務の効率化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内ヒアリングの実施による業務効率化ニーズの整理</li> <li>・ RPA試験的導入による業務効率化の検討</li> <li>・ 庁内横断WGの開催による効率化手段の庁内共有と機運醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準作業手順のマニュアル化</li> <li>・ 導入技術の検討と実証試験</li> <li>・ 住民とのコミュニケーションツール、情報伝達に関する検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニュアルの電子化・システム化により業務支援ツールとして実装</li> <li>・ RPA等業務効率化に関する技術実装</li> <li>・ 住民問合せに対するチャットボット機能の実装</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各システムの評価と検証</li> <li>・ 導入範囲の拡大</li> </ul>
<b>ワンストップ災害対応システムの構築</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が導入する「福井県災害情報インターネットシステム」（以下、県システム）の利用導入</li> <li>・ 当町の地域特性に基づく、県システムへ付加すべき項目や、センサー機器等の追加の必要性検討</li> <li>・ 自治会、自主防災組織等へのヒアリング調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町独自での付加項目への対応可能性について県と協議</li> <li>・ センサー類の導入検討</li> <li>・ 地域への説明会や研修会を通じ、県システムの周知を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町が独自に計測すべきポイントへのセンサー類を実装</li> <li>・ 上記、県システムとのデータ連携を行い、永平寺町にカスタマイズしたシステムの実装</li> <li>・ ワンストップ災害対応システムの町民周知を継続的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用普及の取組み</li> </ul>
<b>災害時における遠隔医療の活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民へのアンケート調査により、災害時遠隔診療サービスに対するニーズの把握</li> <li>・ 町内医療機関等に対する、災害時のオンライン診療に関するニーズ調査</li> <li>・ 避難所の通信環境等のインフラ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時における町内医療機関の協力体制についての検討</li> <li>・ 避難所開設時における医療サービスの円滑提供へ支障となる事項の整理</li> <li>・ 導入するシステム、ソフト面の検討</li> <li>・ 避難所におけるセキュリティ等の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に提供すべき遠隔診療の内容について、法制度の課題を整理</li> <li>・ デモや試験運用の実施</li> <li>・ 遠隔診療に対する社会受容性の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所における遠隔診療の実装</li> <li>・ 平時におけるオンライン健康相談等の実施</li> <li>・ 遠隔診療に対する社会受容性の醸成</li> </ul>